

生物多様性を支える市民・地域による戦略的地域づくりビジョン

平成22年3月

環境省中部地方環境事務所

生物多様性を支える市民・地域による戦略的地域づくりビジョン

目 次

I. はじめに	1
1. ビジョン策定の目的	1
2. 検討の対象地域と人口	1
3. 検討の体制	2
II. 伊勢・三河湾流域における土地の履歴	3
1. 古代	3
2. 中世	4
3. 近世	5
4. 近現代	7
III. 伊勢・三河湾及びその流域の現状と課題	8
1. 伊勢・三河湾及びその流域の現状	8
2. 高度経済成長期に進められてきた各種事業・都市化の進展等と環境負荷の増大	13
3. 高齢化・少子化等による産業・社会構造の変容	24
4. 森里川海のネットワークの状況と生物の生息環境	26
IV. 伊勢・三河湾流域再生に向けた流域圏のポテンシャル	35
1. 伊勢・三河湾流域の自然環境の現状を把握するための試み	35
2. 伊勢・三河湾流域再生のための施策の進展	40
3. 地域による持続可能な資源利用のためのルールづくり	49
4. 自然資源の持続的な管理・利用手法	51
5. 自然資源を活用した地域活性化に向けた取組	55
6. 市民による流域再生に向けた活動の進展	56
V. 「生物多様性を支える市民・地域による戦略的地域づくりビジョン」の概念と目標	60
1. 生物多様性保全の考え方と目標	60
2. 「ポスト2010年目標日本提案」と伊勢・三河湾流域における目標	63
3. ビジョンの3つの目標とすでにはじまっている取組	66
VI. ビジョンの実現に向けた戦略	80
VII. 生物多様性の観点から持続可能な地域づくりを更に進めていくために	86